はじめに

このガイドの使用法

このガイドでは、電話機で使用可能な機能の概要について説明しています。電話機の機能について確実に理解するには、このガイドをよく読んでください。次の表に、よく使用される項目を示します。

目的	操作
電話機について調べる	ヘルプが必要な場合は、?を押してください。
安全情報を参照する	P.3 の「安全および使用における情報」を参照してください。
電話機を接続する	P.6 の「電話機の接続」を参照してください。
設置後に電話機を使用する	P.9 の「電話機の概要」を参照してください。
ボタン ライトの意味を調べる	P.10 の「ボタンとハードウェアについて」を参照してください。
タッチスクリーンについて調べる	P.13 の「タッチスクリーンの機能」を参照してください。
コールを発信する	P.18 の「コールの発信:基本的なオプション」を参照してください。
コールを保留にする	P.22 の「コールの保留と復帰」を参照してください。
ミュートにする	P.23 の「ミュートの使用」を参照してください。
コールを転送する	P.25 の「コールの転送」を参照してください。
会議コールを発信する	P.28 の「会議コールの使用方法」を参照してください。
短縮ダイヤルを設定する	P.32 の「短縮ダイヤル」を参照してください。
電話番号を共有する	P.34 の「共有回線の使用」を参照してください。
電話機をスピーカフォンをとして使用する	P.43 の「ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法」を参照してください。
呼出音の音量またはトーンを変更する	P.45 の「電話機の設定の使用」を参照してください。
不在履歴を表示する	P.48 の「履歴の使用」を参照してください。
ボイス メッセージを聞く	P.51 の「ボイス メッセージへのアクセス」を参照してください。
ソフトキーとアイコンの定義を参照する	このガイドの先頭にあるクイック リファレンス カードを参照してください。

その他の情報の入手先

WWW 上の次の URL から、Cisco IP Phone の最新資料を入手することができます。

http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_ipphon/index.htm

シスコの Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

http://www.cisco.com/

また、シスコの Web サイトの各国語版へは、次の URL からアクセスできます。

http://www.cisco.com/public/countries_languages.shtml

Cisco 7900 シリーズ IP Phone eLearning チュートリアルへのアクセス

Cisco 7900 シリーズ IP Phone eLearning チュートリアルは、オーディオとアニメーションを使用して、基本的なコール機能を示します。一部の電話機モデルの eLearning チュートリアルには、ご使用のパーソナル コンピュータからオンラインでアクセスできます。次の URL にあるドキュメント リストで、ご使用の電話機モデルの eLearning チュートリアル（英語のみ）を参照してください。

http://cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/products_user_guide_list.html

Web 上での電話機のカスタマイズに関する詳細情報

Cisco IP Phone は、社内の他のネットワーク デバイス（コンピュータを含む）と情報を共有できるネットワーク デバイスです。Cisco CallManager のユーザ オプション Web ページを使用すると、コンピュータで電話機サービスの設定およびカスタマイズと、電話機の機能および設定の制御を行うことができます。このガイドでは、これらの機能の概要について説明します。詳細な手順については、『*Web での Cisco IP Phone のカスタマイズ*』を参照してください。このガイドは次の URL で入手できます。

http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_ipphon/index.htm

安全および使用における情報

次の安全上の注意事項をお読みになってから、Cisco IP Phone の設置と使用を始めてください。

警告 安全上の重要な注意事項

「危険」の意味です。人身事故を予防するための注意事項が記述されています。装置の取り扱い作業を行うときは、電気回路の危険性に注意し、一般的な事故防止策をとるよう努めてください。警告の各国語版を参照するには、各注意事項の番号と、装置に付属の「Translation Safety Warnings」の番号を照らし合せてください。ステートメント 1071

これらの注意事項を保管しておいてください。

警告 必ず、取り付け手順を読んでから、システムを電源に接続してください。

警告 この製品を廃棄処分する際には、日本国の法律および地方自治体の条例または規則に従ってください。

警告 雷の発生中は、システムでの作業、またはケーブルの接続や取り外しを行わないでください。

警告 感電事故を防ぐために、安全超低電圧（SELV）回路を電話網電圧（TNV）回路に接続しないでください。LAN ポートには SELV 回路があり、WAN ポートには TNV 回路があります。一部の LAN ポートと WAN ポートはいずれも、RJ-45 コネクタを使用しています。ケーブルを接続する場合には、注意してください。

注意 インライン電力回路は、通信ケーブルを介して電流を供給します。シスコが提供するケーブルまたは 24 AWG 以上の通信ケーブルを使用してください。

外付け電源装置の使用

次の警告は、Cisco IP Phone を外付け電源装置と使用する場合に適用されます。

警告 **この製品は、設置する建物に短絡（過電流）保護機構が敷設されていることが前提になっています。各相導体（すべての通電導体）に 120 VAC、15A（日本および米国）、または 240 VAC、10A（前記以外の国）以下のヒューズ、または回路ブレーカーが使用されていることを確認してください。**

警告 **この装置は、TN 電源システムを使用して動作するように設計されています。**

警告 **プラグとソケットは常に手を伸ばして利用できる状態にしておく必要があります。これは、プラグとソケットが主要な切断装置であるためです。**

警告 **電源装置は屋内に設置する必要があります。**

注意 この製品では、シスコが指定する電源装置だけを使用してください。

停電

電話機で緊急サービスにアクセスできるかどうかは、電源が供給されている電話機に依存します。電源障害がある場合、電源が復旧するまで、利用および緊急コール サービスへのダイヤルは機能しません。電源の異常および障害が発生した場合は、装置をリセットまたは再設定してから、利用または緊急コール サービスへのダイヤルを行う必要があります。

外部デバイスの使用

次の情報は、Cisco IP Phone で外部デバイスを使用する場合に適用されます。

シスコでは、不要な Radio Frequency（RF; 無線周波数）および Audio Frequency（AF; 可聴周波数）がシールドされた高品質の外部デバイス（ヘッドセットなど）の使用を推奨しています。

これらのデバイスの品質や、携帯電話および双方向ラジオなど他のデバイスとの間隔によっては、雑音が入ることもあります。その場合は、次のいずれかの方法で対処してください。

- RF または AF の信号源から外部デバイスを離す。
- RF または AF の信号源から外部デバイスのケーブルの経路を離す。
- 外部デバイス用にシールドされたケーブルを使用するか、シールドおよびコネクタが高品質のケーブルを使用する。
- 外部デバイスのケーブルを短くする。
- 外部デバイスのケーブルに、フェライトまたは同様のデバイスを適用する。

シスコでは、外部デバイス、ケーブル、コネクタの品質については制御できないため、システム パフォーマンスを保証することはできません。良品質のケーブルおよびコネクタを使用して適切なデバイスを接続すると、十分なシステム パフォーマンスを得られます。

⚠

注意 欧州連合諸国では、EMC Directive [89/336/EC] に完全に準拠した外部スピーカ、マイクロフォン、ヘッドセットだけを使用してください。

アクセシビリティ機能

アクセシビリティ機能のリストをご希望の場合は、お問い合せください。